

# パーキンソン病

## 原因

- 環境因子(殺虫剤や除草剤の使用、井戸水の摂取など)と遺伝的要因によって脳細胞内に蓄積した $\alpha$ シヌクレインという蛋白質が毒性を発揮して脳細胞を変性させることが原因です。
- 特に中脳黒質の神経細胞が変性するので、ここで産生されるドーパミンが不足して身体の動きが不自由になります。

## 症状

- パーキンソン病の症状には運動に関する「運動症状」と無関係の「非運動症状」があります。

### 「運動症状」

- 固縮、筋強剛  
(筋肉のこわばり)
- 無動、寡動  
(動作緩慢)
- 振戦(ふるえ)
- 姿勢反射障害  
(倒れやすさ)
- 小刻み歩行、すくみ足、加速歩行

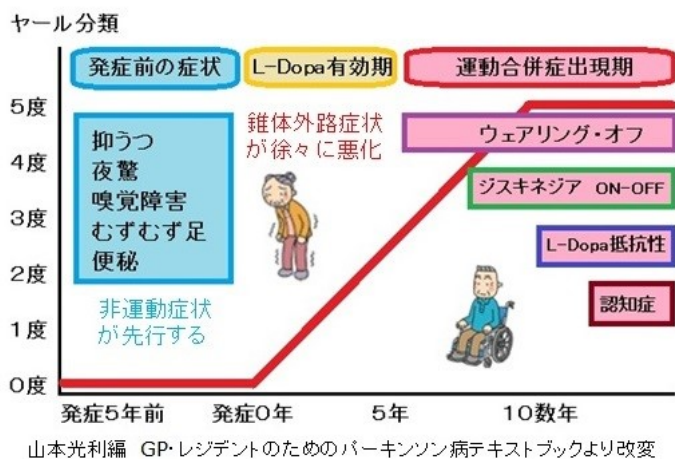
Gowers, 1886



### 「非運動症状」

- 認知症(意欲低下、注意障害、記憶障害)
- 精神症状(うつ、不安、幻覚、行動異常)
- 睡眠・覚醒障害(不眠、日中過眠、REM睡眠行動障害\* <夜驚、寝言、睡眠中の暴力>、下肢静止不能症候群<むずむず足症候群>)
- 疲労
- 疼痛・感覚障害(嗅覚障害、腰痛など)
- 自律神経障害(便秘、流涎、立ちくらみなど)
- 呼吸器症状(呼吸苦、咳嗽)
- その他(脂漏性皮膚、性功能障害、体重減少)

- 動きが悪くなる5年ほど前から「非運動症状」が出現し、その後徐々に「運動症状」が出現します。
- 右の図はあるパーキンソン病の方の病状経過の表です。「運動症状」はレボドパ治療をはじめると改善するのですが、5-10年ほどたつとレボドパの効果が弱くなったり(運動合併症)、認知症が出現したりすることがあります。



## 似たような症状をおこす病気

- 薬の副作用で薬剤性パーキンソン症候群を起こすので内服薬を確認いたします。
- 脳梗塞、脳出血、慢性硬膜下血腫、水頭症は頭部CTや頭部MRIで区別できます。
- 本態性振戦はドパミントランスポータSPECTで区別ができます。
- バセドウ病などの甲状腺機能亢進症は血液検査で区別ができます。
- その他のパーキンソン症候群(大脳皮質基底核症候群、多系統萎縮症、血管性パーキンソン症候群など)は心筋MIBGシンチグラフィーで区別ができます。

## 治療法

### ■薬物療法

- **レボドパ・カルビドパ**;パーキンソン病の特効薬です。副反応がなければしっかり効くまで(1日3錠ほど)処方します(量が少なすぎても多すぎてもよくないと言われています)。
- その他の薬; **ドパミンアゴニスト**(プラミペキソール、ロチゴチンなど)、**MAO-B 阻害薬**(ラサギリン、サフィナミドなど)は運動合併症の出現を抑制する効果があります。その他には、**アマンタジン**、**COMT 阻害薬**、**ゾニサミド**、**イストラデフィリン**、**ドロキシドパ**、**抗コリン薬**のレボドパの効果을補完する薬剤が数十種類ほどあります。

★これらの薬の主な副反応は、**眠気**、**吐き気**、**幻覚**などです(副作用があれば減らして下さい)。

★これらの薬のほとんどは**自動車運転が禁止**されています。

■**リハビリテーション**;平均 20-30 分間の**運動とストレッチ体操**を週 3 回以上続けましょう。**太極拳**も有効です。(歩行が要介助なら**指定難病**)**介護保険**を申請することをお勧めいたします。

### ■デバイス補助療法;

- **脳深部刺激療法(DBS)**;脳内に電極を埋め込む手術で進行期の方に実施することがあります。視床、淡蒼球、視床下核などを刺激することで投薬を減らすことができますが、高齢の方や認知症のある方には不向きです。横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター、東海大学、都立神経病院などが有名です。
- **レボドパ・カルビドパ経腸療法(LCIG)**:胃瘻を作ってゲル状のレボドパ・カルビドパを十二指腸に半日以上持続注入する治療で進行期の方に実施することがあります。

■便秘や不眠や幻覚や腰痛などに対する**対症療法**も必要に応じて実施いたします。

■**研究中の治療**;反復経頭蓋磁気刺激(rTMS)療法、電気痙攣療法、ロボットスーツ HAL®、アデノウイルスベクターを用いた遺伝子治療、iPS 細胞を用いた研究など

## さいごにひとこと

■毎日**決まった時間に薬を飲んで**、**定期的に運動**を続けることが一番肝心です。

■進行期の方は水や食事をむせて肺炎になったり、転倒して骨折したり認知症が悪化したりすることが多いので、「**食事は柔らかめをゆっくりで**」、「**移動は杖や手すり**で」お願いします。

■参考文献は「**やさしいパーキンソン病の自己管理(改訂版)**」(医薬ジャーナル社)です。

■**全国パーキンソン病友の会**(<https://jpda.jp/>)という患者会からも様々な情報を得られます。

\***REM 睡眠行動障害**(Rapid Eye Movement Sleep Behavior Disorder, RSD)は睡眠中の夢を見ているとき(REM 睡眠中)に悪夢を見たり、激しい寝言を言ったり、暴力をふるう、延髄と橋の機能障害です。パーキンソン病や多系統萎縮症の前駆症状であることがあります。内服薬はクロナゼパムが有効です。

みやさきクリニック 宮崎秀健